

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 3 月 25 日

所属	基盤教育機構	職名	准教授	氏 名	田中信一郎
研究課題	エネルギー政策を補助線とする地域再生政策の研究				
研究キーワード	公共政策、自治体、地域経済、エネルギー、人口減少	当年度計画に対する達成度	2. 順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	

1. 研究成果の概要

- ① 長野県地域と調和した再生可能エネルギー事業の推進に関する専門委員会委員長として「長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例」案の作成を主導した。条例案の作成に際して本研究で得た知見を活用し、研究成果の社会実装に至った。条例は 2023 年 10 月 16 日に長野県議会で可決・成立し、2024 年 4 月 1 日から施行される。
- ② 長野県「県庁省エネ改修設計アドバイザー」として、公共施設として日本初となる断熱化による長寿命化改修の設計に関して、長野県副知事及び環境部長によるニセコ町の事例（高度に断熱化した新築庁舎）視察とに同行すると共に、持続可能性を高める観点から助言を行った。長野本庁舎の断熱長寿命化改修は 2024 年 4 月から 2 か年にわたって工事となる。
- ③ 北海道ニセコ町及び周辺の後志地域において、再生可能エネルギーと防災の専門家と共に調査を行い、ニセコ町長を含む関係者と意見交換を行った。調査の知見は今後取りまとめ、自治体関係者向けに報告を行い、社会実装に活用する予定である。
- ④ 学長プロジェクト 4 での活動に関連して「自然エネルギー大学リーグ」の事務局長を務め、2023 年 9 月 15 日に本学において総会・特別フォーラムを開催した。また、文部科学省の主導で結成された「カーボンニュートラルに貢献する大学等コアリション」に本学の担当者として関与し、広島大学等において関係者と意見交換を行った。
- ⑤ 事例及び文献の収集：人口減少社会・持続可能社会を考察するための文献収集を幅広く行うとともに、内閣府、環境省、市川市、匝瑳市、上田市、浅口市、雲南市、浜田市、白川町、西栗倉村等の関係者と人口減少等について意見交換を行った。

2. 著書・論文・学会発表等

【著書・論文（査読なし）】

- ① 著書（共著）：小端拓郎編 [2023] 『都市の脱炭素化の実践』大河出版
- ② 論文（単著）：田中信一郎 [2023] 「500 年前の福祉住宅から学ぶサステナビリティのヒント」千葉県地方自治研究センター『自治研ちば』第 41 号
- ③ 論文（単著）：田中信一郎 [2024] 「複数の地域課題を同時解決する断熱住宅の普及」千葉県地方自治研究センター『自治研ちば』第 43 号

【学会発表等】

- ① 「長野県の脱炭素化政策に大学の知見はどのように活かされているのか」CUC 公開講座（千葉商科大学）2023 年 8 月
- ② 「地域と調和した太陽光発電事業に関する条例と認証」第 38 回ニッセイ財団環境問題助成研究ワークショップ（一橋大学）2023 年 11 月

- ③ 「北海道ニセコ町の脱炭素化に向けた取り組み」CUC 公開講座（千葉商科大学）2024 年 1 月
- ④ 「サステイナブルでウェルビーイングな都市とはどのようなものか？—上田ビジョン研究会の活動からの考察」日本社会関係学会（日本大学）2024 年 3 月

3. 主な経費

- ① 人口減少社会・持続可能社会を分析するために書籍を購入
- ② 北海道ニセコ町等での調査を実施（2023 年 9 月 4 日～9 月 7 日）
- ③ 長野県上田市での調査を実施（2024 年 3 月 16 日～17 日）

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

- ① 内閣府 デジタル田園都市国家構想交付金評定委員会 委員
- ② 内閣府 地方創生関係交付金の効果検証に関する検討会 委員
- ③ 長野県 地域と調和した再生可能エネルギー事業の推進に関する専門委員会 委員長
- ④ 長野県 県庁省エネ改修設計アドバイザー
- ⑤ 白井市 まちづくり審議会 委員
- ⑥ 環境省 再エネ中核人材育成事業基礎講座 講師
- ⑦ 長野県 幹部職員研修 講師
- ⑧ 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 講師
- ⑨ 明治大学政治制度研究センター 客員研究員